

平成25年度 秩父地域森林活用等創出支援事業

針葉樹バークチップによる舗装試験

埼玉木材チップ協同組合



事業の目的・内容

未利用木質資源である針葉樹バークチップを利用した、クッション性の良い歩経路の舗装を行い、針葉樹バークチップの利用拡大と通年利用を図る。



今までの活動状況

当組合から産出されるスギ・ヒノキ等針葉樹の樹皮を用い、平成26年9月 大血川森林活用施設整備工事の遊歩道に針葉樹バークチップ舗装を使用していただきました。



また、平成27年3月には、バークチップを活用した舗装の開発ということで、「がんばる中小企業・小規模事業者300社」全国47都道府県で、埼玉県より選ばれた6社の中に入り、経済産業省より表彰を受けました。



これからの活動・行事

クッション性が良く、足にやさしく、透水性と滑り抵抗性があり、木質チップ舗装に比べ、耐用年数が長く期待できます。

また、木質チップ舗装に比べ、安価に施工できることから、地元の市町で使用していただくよう取り組んでいきたい。